

4 人の感情や行動を豊かにする インテリアプランニング

やさしさややすらぎ、感動をデザイン



ホテル & スパリゾート ラ・ビスタ函館ベイ ロビー・フロント

開拓時代の歴史的建造物を現代に再生、和と洋が混在する函館文化を表現した。



メディカルトピア草加病院 病室 病院らしさを消し去った空間。ヘッドボードの医療用アウトレットはスライド壁で隠して。



神戸低侵襲がん医療センター 案内の木

直感的に分かりやすく、迷わず目的地へと導くサイン。

写真/ラビスタ函館：Foward 阿野太一 草加・神戸：Blue Hours 沖裕之

ゼネコン設計部で建築計画段階からの インテリア検討

私は、大成建設の設計本部に所属しています。ホテル、病院、研究所、商業施設、工場、学校、マンションなど、総合建設業として請け負うさまざまなプロジェクトの中で、建築設計だけではまかない切れないインテリアデザインの部分を専門に手がけています。建築設計と一緒に仕事をするため、プランニング段階でインテリア視点からの要望が出せ、より提案性の高い空間を実現できるメリットがあります。

私たちにとって、商品とはデザインした空間そのもの。その空間の中を人が動いていくシーケンスに沿って、例えば廊下を曲がった先に何が見えるのかと考えていきます。空間的に、ここには窓がほしいとなったら建築設計に要望を出して調整ができます。これが設計とインテリアデザインを同時に進められることの良さだと思います。

その空間に「人がどう関わるのか」

就職時に大成建設を選んだのは、バラエティに富んだ割合大きな物件を手掛けられそうだったから。レストランやホテル、病院、DNA研究所から赤ちゃん休憩室まで、さまざまなインテリアを設計してきて、日々の実務の中でスキルが磨かれました。そんな私にとって一番やりがいを感じるのは、出来上

がった建物を利用する人たちに喜んでもらえる時です。

空間というのは、人が介在して初めて意味が出てきます。写真で見てどれだけきれいではなく、使う人がどう使うのか、そこに人がどう関わるのか、それが私のテーマです。人と空間の関わりの中で、そこで過ごす人の感情や行動を豊かにしていくこと、それがインテリアプランナーの仕事だと思っています。

人のために、 インテリアデザインのできることに

函館の古いレンガ倉庫をホテルに再生する仕事では、宿泊客の気持ちを豊かにすることを考えました。函館を訪れる人が、明治開港時の文化を色濃く残すレンガづくりの風情ある街並みに触れ、その感情の高まりをホテルに着いてからも途切れることなく味わえる空間デザインを試みました。

草加の病院では、どうすれば入院してくる患者さんが暗い気持ちにならないか考えました。導き出したのが、機能的な医療設備を備えながらも医療行為の気配を消したホテル並みのホスピタリティ空間。抗菌性など衛生面で内装の素材も限定されますが、医療行為の機能を損なわずに患者さんのストレスを少しでも減らせるよう工夫しました。

神戸のがん医療センターでは、つらい想いを抱えて訪れる人のために、手渡し和紙や天然木を配した内装で、訪れる人がやすらぎを

高橋洋介さん

インテリアプランナー、二級建築士
大成建設株式会社 設計本部
インテリアデザイン室 シニアデザイナー



《経歴》

1969年生まれ。多摩美術大学美術学部
デザイン学科卒業、1993年大成建設入社。

《実績》

- ・東天紅大阪TWIN21店（1998）
- ・ジョン・レノン・ミュージアム（2000）
- ・クロンテック・バイオサイエンスラボ（2001）
- ・ホテル&スパリゾート
ラ・ビスタ函館ベイ（2008）
- ・メディカルトピア草加病院（2012）
- ・神戸低侵襲がん医療センター（2013）

ほか多数

《受賞歴》

- ・JID賞インテリアスペース部門賞（2001）
- ・インテリアプランニングアワード優秀賞（2010）
- ・兵庫県にんげんサイズの
まちづくり賞奨励賞（2014）
- ・インテリアプランニングアワード入選（2014）

ほか多数

感じられる癒しの空間を演出しました。

ホテルにせよ、病院にせよ、利用者の視点と発注するクライアントの視点とがあります。その両方の視点を繋ぐことが出来るのがデザインであり、どちらの視点も合わせて提案していけるのがインテリアプランナーだと思っています。

資格で基礎を固め、 スキルを磨いていこう

インテリアプランナーは、建築士のような業務独占資格ではありませんが、インテリア設計等を専門にするなら早いうちに資格を取っておくとよいと思います。専門のスキルを持っているという証であり、自信になって、客先の信用にも繋がります。まずはそこがスタートライン。そこから先は、自分なりにスキルを磨いていけばよいと思います。

現代はツールも発達し、ネットで情報も手に入るから、真似事でも仕事をするのは簡単になってきています。だからこそ、足元をしっかりと固める意味でも資格をきちんと身に付けておくことは大切だと思います。